

聖地へ

試合終了間際の劇的な逆転勝利で、3年ぶり8回目の花園出場を決めた秋田中央。豊富な運動量と低いタックルを武器とする選手たちは、全員一丸となつて大舞台での勝利をつかみにいく。

試合終了間際の劇的な逆転勝利で、3年ぶり8回目の花園出場を決めた秋田中央。豊富な運動量と低いタックルを武器とする選手たちは、全員一丸となって大舞台での勝利をつかみにいく。

県予選決勝の秋田工戦、5点を追う試合終了間際の集中力は圧巻だった。一度もノックオンやペナルティーガーないままプレーを継続。連続22回

主将（3年）が同点のトライを決め、H.O.阿部康平（同）の逆転のゴールが成功し、花園への扉をこじ開けた。

過去2年連続決勝で秋田工に苦杯をなめさせられた悔しさ。そして、亡き友への思い。8月、ナンバー8の山内健太郎さん（同）が海水浴中に溺れ死去。ショックから

が続いたが、健太郎のためにも花園に行こう」と再び立ち上がり、悲しみを力に変えた。

さ、素早い集散、スピードに乘ったバス回しなど、「全ての速さで相手を上回り、絶え間なく動いてプレッシャーをかけていきたい」と富樫王将。堅守に自信をみなぎらせる。

も、サポートを速くして相手の攻撃の芽を摘みたい。うちには得点力があるチームではない。序盤での失点を抑え、終盤負の展開を防ぐぞ。

スピード、堅守に自信

「も、サポートを速くして相手の攻撃の芽を摘みたい。うちには得点力があるチームではない。序盤での失点を抑え、終盤勝負の展開をつくりたい」と語る。

3年前も初戦の相手は長崎県勢だった。「前回も前評判は相手が高かつたが、結果は違った。勝負はやってみなければ分からぬ。全国で勝つためには、まずはしっかり守る」と富樫主将。劇的な勝利を飾った県大会決勝同様、15人一体となつてFW、BK陣全員で戦い抜く覚悟だ。亡き友がかなえられなかつた花園への思いも胸に刻み、選手たちは憧れの舞台でノーサイドの瞬間まで走り続ける。



ラグビー

(27日～1月7日、大阪)

秋田中央

(3年ぶり8回目)



社会人選手を相手にした実戦練習で、堅守に磨きをかける秋田中央の選手たち=八橋健康広場



長崎北陽台に敗れ、肩を落としながらベンチに戻る秋田中央の選手たち

秋田中央、初戦敗退

第91回全国高校ラグビーの近鉄花園ラグビー場で13度目の出場となる長崎本県代表で3年ぶり8度目中央は後半、粘り強く守つて反撃を見せたものの、前半での失点が重く19-34で敗れ、初戦で姿を消した。前回大会で引き分けた春日丘(愛知)ー尾道(広島)は9-9で再び引き分け、

全国高校

カグビー

第2日>

長崎に5トライ許す

秋田中央は守りの甘さが響き、後半7分までに計5トライを許して長崎北陽台に敗れた。
秋田中央は開始1分に先制トライを許すと、相手のテンポのいい攻撃を止められず、5分にもトライを決められ、導権を握られた。12分に敵陣ゴール前らばのラインアウトからモールで押し込み、ナンバー8池端がトライを決めたが、その後も密集戦で後手を回り、スペースを突かれて失点。19点のビハインドで前半を折り返した。

後半、ボールを積極的に動かしてリズムをつかむと、4分に自陣22m付近から右に展開し、WTB藤田倫が右隅にトライ。28分には中央ラックからボールをつなぎ、SO富堅がトライを決めて逆差を

亡き友人の分もトライ

○：「みんなの力で奪ったトライ」。開始12分、チーム初トライを決めたナンバー8池端絃（3年）は、ベンチ、スタンド、そして亡き友の思いを胸にゴールに飛び込んだ。

抽選により春日丘が初の2回戦進出を決めた。新潟工は前回4強の関西学院（兵庫）と7-7で引き分け、抽選で2回戦進出。仙台育英（宮城）深谷（埼玉）清真学園（茨城）富山一、飯田（長野）浜松工（静岡）も勝ち進んだ。前回ベスト4の大坂朝鮮高（大阪第1）は日本航空石川に10-29で、東日本大震災や原発事故の影響を受けた磐城（福島）は熊本西に5-31でそれぞれ敗れた。30日の第3日は前回大会で両校優勝となつた東福岡、桐蔭学園（神奈川）などシード校が登場し、2回戦16試合を行う。

木ノ本地圖

序盤の失点が重すぎた。秋田中央は後半、積極的にボールを動かし猛攻を見たが、ノーサイドの笛が情に鳴り響いた。3年ぶりの花園こ逃み、初戦で敗つ

焦点

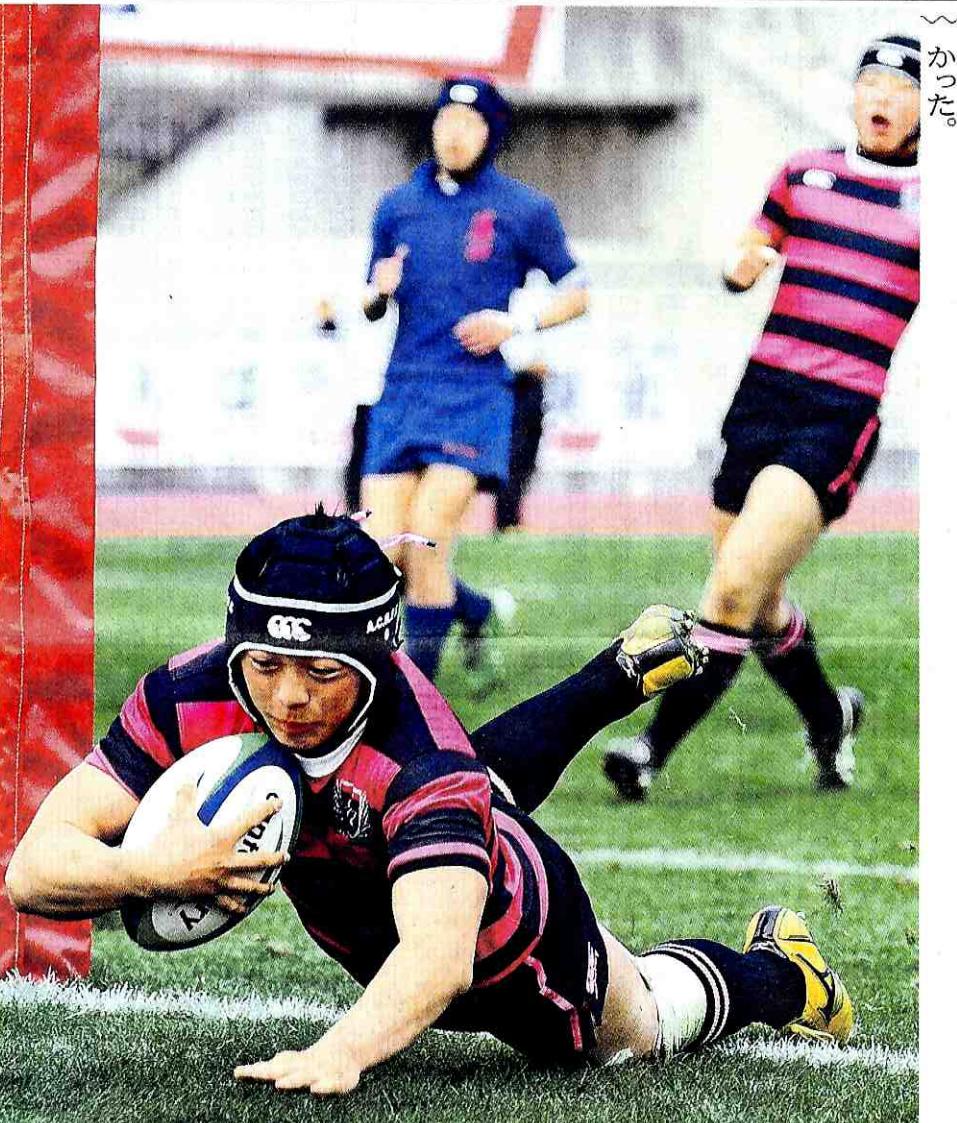
重かつた序盤の失点

「立ち上がりは硬くなってしまった。相手は接点が非常に強く、早い段階でトライを取られすぎた」と古谷和義監督。堅守でロース

コアに持ち込む展開を狙つたが、わずか1分でノーホイップスルトライで先制されると、相手の出足の鋭い守りにボールを奪われ、5分

にもトライを許した。「出足、動きともに速かった。『自分たちがやろうとしたプレーを逆にやられた』とS〇富樫玄主将（3年）。敵

陣になかなか入れず、前半だけで4トライを奪われ、完全に主導権を握られた。



全国制覇だ!!

3年ぶり
8度目の出場

秋田中央高等学校ラグビーチーム

■とき/12月27日(火)~1月7日(土)

■ところ/東大阪市・近鉄花園ラグビー場

1回戦 12月28日(水)午後1時45分 キックオフ 長崎 県立 長崎北陽台高等学校(長崎県代表)と対戦

ごあいさつ

秋田県立秋田中央高等学校 校長 保坂 憲一郎

第91回全国高等学校ラグビーフットボール大会出場を決めて以来、本校同窓生、ラグビー関係者のみならず、県民の皆様から多大なご支援と力強い励ましを頂戴し、心から感謝申し上げます。

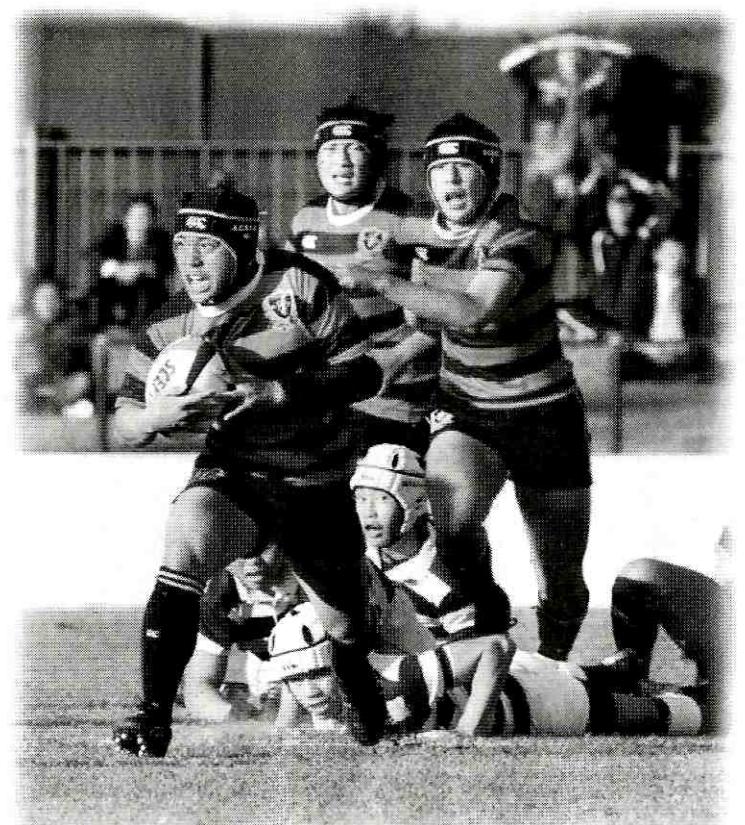
花園は3年ぶりの出場となります。前回の出場以来、再び同じ芝生の上に立って校歌を歌おうとの思いを胸に練習に励み、全国の強豪校との試合を通じて鍛錬してきました。花園を目指しボールを追いかけ続けた諸先輩の志と努力、そして我々の思いとが相俟って、再び花園の舞台に立つことができたのだと思います。

対戦相手が決まり、一足早く大阪入りした選手たちは目標であるベスト8以上進出実現に向け、気持ちを高ぶらせております。秋田県代表として、県予選を戦った多くの仲間の思いに応え、低いタックルでしぶとく守り、フォワード・バックスの別なく自在に走り回る中央高校のラグビーを展開しようと試合を前に一層士気が高まっているところです。部員一人ひとりが乾坤一擲の気概を持ち、花園で思い切り戦ってきます。

これまで以上の温かいご支援をよろしくお願いします。

秋田県立 秋田中央高等学校

校長	保坂 憲一郎	教育振興会会长	岩谷 政良
P T A 会長	富樫 忠尚	一交会会長	後藤 慎隆
ラグビー部OB会会长	海野 達雄	ラグビー部父母の会会長	富樫 晃



秋田県立 秋田中央高等学校ラグビー部メンバー表

	氏名	学年	出身校
1	吉岡 遼	3	秋大附属中
2	阿部 康平	3	泉中
3	照井 康太	3	羽城中
4	吉田 良輔	3	飯島中
5	南都 陸央	2	羽城中
6	横田 航司	3	秋田北中
7	石井 和也	3	井川中
8	池端 紘	3	協和中
9	伊東 航	3	飯島中
10	◎富樫 玄	3	羽城中
11	石郷岡 悠人	2	将軍野中
12	小松 裕太	3	秋田北中
13	佐々木 岳大	2	御野場中

部長 小野寺 康
監督 古谷 和義
マネージャー 青木 美月(3年)
佐藤 萌菜美(3年)
藤原 伽那子(3年)
菅原 ほなみ(2年)
鎌田 万穂(3年)
角田 伸代(1年)
◎は主将

